



基本理念

Purpose

「お客さまに喜ばれる製品・サービスの提供」を通じ 豊かな社会の実現へ貢献する

長期ビジョン

Vision

「食と農と大地」のソリューションカンパニー

Solution Provider for Agriculture & Landscape

夢ある農業と美しい景観を支え、持続可能な「食と農と大地」の未来を創造する

大切にしている価値

Value

7つの誓い ～豊かな社会の実現へ貢献するために～

1. Spirit ……創業の志を受け継ぎ、食と農と大地に向き合い、ともに歩む
2. Front runner ……フロントランナーとして、画期的な製品・サービスを生み出す
3. Quality ……上質な製品を、情熱をもって作る
4. Solution ……お客さまの課題解決を目指し、アクションを起こす
5. Innovation ……先端技術でイノベーションを巻き起こし、新しい価値を提供する
6. Global ……よりグローバルに、世界の社会課題を解決する
7. Future ……食と農と大地の明日を、未来を切り拓く

井関の精神 ～創業者の想い～

“農家を過酷な労働から解放したい”

創業者 井関邦三郎は、手作業や畜力を用いた過酷な農作業を機械化によって省力化し、農業のさらなる発展に努めました。

「ええもんをつくるんやぞ」と、お客さまに喜ばれる商品を提供することにこだわり続けた創業者の想いは、今もなお「井関の精神」として連綿と受け継がれています。

社 是

当社は

1. 需要家には喜ばれる製品を
2. 従業員には安定した職場を
3. 株主には適正な配当を

経営理念として社会的使命を達成する



ポイント 1

井関農機ってどんな会社？

これまで解決してきた社会課題や事業活動についてご紹介します。

Introduction (P5~11) / 事業戦略 (P27~57)



ポイント 2

井関グループが目指す姿

長期ビジョン「『食と農と大地』のソリューションカンパニー」を掲げ、ビジョンの実現に向けた中長期戦略や施策、マテリアリティなどをご紹介します。

トップメッセージ (P13~18) / 価値創造プロセス (P19~20) /
マテリアリティ (P21~22) / 中期経営計画 (P27~30)



ポイント 3

井関らしい取り組み

これまで培ってきた井関グループの強みや環境経営など特色ある取り組みをご紹介します。

井関グループの強み (P31~34) /
研究開発・知的財産戦略 (P43~46, P51~52) /
環境への取り組み (P54~57, P61~62)

ISEKIレポート2023発行にあたって

本レポートは若手・中堅従業員を中心とした組織横断のプロジェクトを編成し作成にあたりました。私はこの制作責任を担うIR担当役員として、本レポートが経営陣の関与と各部署の連携により誠実に作成され、その記載内容が正確であることを表明します。

取締役 常務執行役員
人事、総合企画、IR・広報担当
コンプライアンス副担当

深見 雅之

表紙について 井関グループのフラッグシップ機であるJapanシリーズと欧州向け電動乗用芝刈機により、持続可能な「食と農と大地」の未来を創造することをイメージしました。上から、直進アシストコンバイン、ロボット田植機、ロボットトラクタ、電動乗用芝刈機

目次

- 1 Purpose、Vision、Value、井関の精神・社是
- 3 ISEKIレポート2023 ポイント
- 4 目次／編集方針

5 Introduction

- 5 社会課題を解決してきた歴史
- 7 井関グループについて

12 井関グループが目指す価値創造 (どのような価値を創造するのか)

- 13 トップメッセージ
- 19 価値創造プロセス
- 21 マテリアリティ
- 23 財務・資本戦略

26 価値を創造するための事業戦略 (どのように価値を創造するのか)

- 27 中期経営計画 (2021年~2025年)
- 31 井関グループの強み
- 35 国内市場戦略 (国内営業カンパニー)
- 39 海外市場戦略 (海外営業カンパニー)
- 43 商品・開発戦略 (開発製造カンパニー)
- 47 人材戦略 ~グループ人材力の最大化~
- 51 知的財産戦略
- 53 DX推進
- 54 気候変動への対応
- 57 脱炭素社会の実現への取り組み

58 持続的な成長を支える基盤 (どのように持続するのか)

- 59 井関グループのサステナビリティ
- 60 ステークホルダーエンゲージメント
- 61 井関グループの環境経営
- 62 環境中長期目標と実績
- 63 品質・顧客満足度向上への取り組み
~お客さまとの信頼づくり~
- 65 サプライチェーンマネジメント
- 66 コミュニティ ~地域社会との共生~
- 67 独立社外役員 座談会
- 71 コーポレートガバナンス
- 75 役員一覧
- 77 リスクマネジメント
- 79 コンプライアンス

81 財務・非財務データ

- 81 財務ハイライト
- 82 財務サマリー (連結)
- 83 非財務ハイライト

84 会社概要／株式情報

- 84 会社概要／株式情報／外部評価

編集方針

本レポートは、株主・投資家をはじめ幅広いステークホルダーを対象に、井関グループの企業価値向上に向けた取り組みをわかりやすくお伝えすることを目的に、財務・非財務情報の両面からご紹介しています。

対象期間

2022年1月~2022年12月
ただし、一部2023年1月以降の情報を含まず。

対象範囲

原則として、井関農機と国内外のグループ関係会社を対象としています。活動やデータについて範囲を限定する場合は、本レポート中に注記しています。

参考ガイドライン

- 国際統合報告評議会 (IIRC)
「国際統合報告書フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス」
- GRIスタンダード
- ISO26000
- 環境省「環境報告書ガイドライン (2018年度版)」
- 環境省「環境報告のための解説書
~環境報告ガイドライン2018年版対応~」

コミュニケーションマップ

井関グループは、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを図るため、各種ツールを通じて、さまざまな情報を発信しています。

今後もステークホルダーの皆さまに当社グループをご理解いただけるよう、建設的な対話と情報開示の充実に努めていきます。



将来の予測・計画・目標について

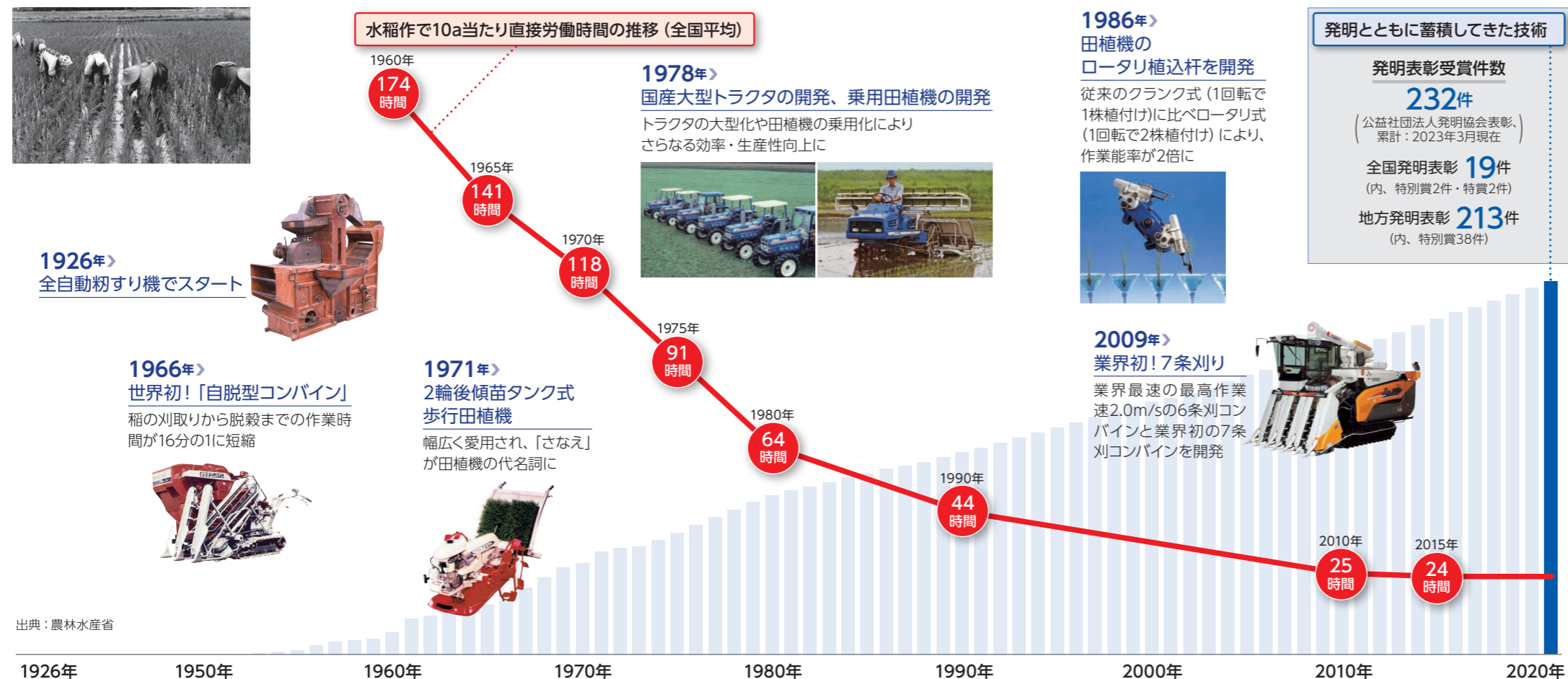
本レポートの掲載内容のうち、将来の見通しに関する記述については、作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化などにより実際の結果と必ずしも一致するものではありません。

※記載金額および株式数は、表示単位未満を切り捨てて表記しています。

社会課題を解決してきた歴史

創業者の想い「農家を過酷な労働から解放したい」から始まり、「お客さまに喜ばれる製品・サービスの提供」を通じ、社会的価値と経済的価値を創出してきました。

日本農機のスタンダードを創りあげ、機械化の進展に貢献



出典: 農林水産省

1926年	1945 — 1950年代	1960 — 1970年代	1980 — 1990年代	2000年代	2010 — 2020年代	2030年
主な社会課題・ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の食料増産 高度経済成長期のはじまり 	<ul style="list-style-type: none"> 高度経済成長期、都市部への人口集中による農業労働人口の減少 農業の近代化 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化の進展 農業従事者の減少、高齢化の進展 	<ul style="list-style-type: none"> 食の安心・安全への関心の高まり 食料自給率向上 農業の持続的発展 	<ul style="list-style-type: none"> 農業経営の大規模化 農業従事者の減少、高齢化の進展 農作物の高付加価値化 環境負荷低減 食料安全保障 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs達成への貢献
井関グループのソリューション	<ul style="list-style-type: none"> 食料増産を支える農業機械の開発と普及 	<ul style="list-style-type: none"> 農業機械の大型化と多様化 稲作の機械化一貫体系の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 省力、低コスト農業に貢献する機械の開発 野菜作における機械化 欧州向け乗用芝刈機開発 	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上に貢献する大型機械の開発 営農提案・サポートなどソフト面の強化 アジアへの農業機械の展開本格化 	<ul style="list-style-type: none"> 先端技術やデータを活用したスマート農業の実現 環境保全型農業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 「食と農と大地」のソリューション
社会的価値を創出 ～持続可能な農業に貢献～	<ul style="list-style-type: none"> 農業の機械化による労力軽減・生産性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の工業化・経済発展に寄与 自脱型コンバインと田植機は戦後日本のイノベーション100選に選定 	<ul style="list-style-type: none"> 省力・低コスト化による収益性向上 野菜作など多様化・高収益化 海外景観整備の作業能率向上 	<ul style="list-style-type: none"> 大型化・スマート化などさらなる効率化・生産性向上 環境負荷低減 アジア農業の生産性向上 		<ul style="list-style-type: none"> 夢ある農業と美しい景観を支え、持続可能な「食と農と大地」の未来を創造する

1926年 「井関農具商会」を創立
1936年 「井関農機株式会社」を設立



1946年 松山工場を設立
1949年 熊本工場を設立

1958年 系列販売会社の設立を開始以降、販売会社を日本全国に展開
1961年 新潟工場を設立
東京証券取引所に株式を上場
1969年 東京支社を本社事務所と改称
1971年 ブラッセルにN.V. ISEKI Europe S.A.を設立
1972年 松山工場を増設、本社を同所に移転
1977年 茨城県に中央研修所を設立
北米にトラクタを輸出開始 (OEM)



2001年 製造部門の分社により、株式会社井関松山製造所、株式会社井関熊本製造所を設立
2003年 中国江蘇省に井関農機(常州)有限公司を設立
2011年 中国湖北省に東風井関農業機械(湖北)有限公司を設立
2012年 PT.ISEKI INDONESIAを設立



2013年 ISEKIテクニカルトレーニングセンター (ITTC) を設立
ISEKI SALES (THAILAND) CO.,Ltd. (現IST Farm Machinery CO.,Ltd.) を設立
2014年 井関常州と東風井関を事業統合し、東風井関農業機械有限公司を設立
フランス代理店Yvan Beal S.A.S、YB Holding S.A.S (現: ISEKI France S.A.S) を子会社化
2015年 夢ある農業総合研究所を設立
2016年 設計基本技術トレーニングセンター (IETC) を設立
2017年 ISEKIグローバルトレーニングセンター (IGTC) を設立
2020年 タイ販売会社 IST Farm machinery CO.,Ltd.を子会社化
2022年 ドイツ販売代理店Iseki-Maschinen GmbHを子会社化

現在・未来へ

スマート農業

ロボット技術やICTなど先端技術を活用したスマート農業を推進しています。効率的で生産性の高い農業経営を目指します。



世界の農業に貢献

アセアンなど農業の機械化により、効率的な食料生産、農業の生産性向上に貢献します。



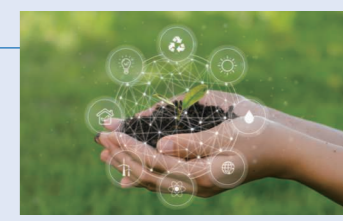
生活の質の充実へ

欧州の街づくりや北米等でのプライベート充実にも貢献します。



環境保全へ

脱炭素・循環型社会の実現へ貢献します。



井関グループについて

At a glance

2025年 創立100周年

農業機械の総合専門メーカー

日本農機のスタンダードを確立

- 農業の機械化による労力低減・生産性向上
- 数多くの発明とともに技術を蓄積 (P5~6)

海外展開を加速

(海外売上高比率)

2013年 15.5% → 2022年 32.4%

(P16、39~42)

基盤となる3つの強み

- ① 技術力 ② 連携によるイノベーション ③ 営農提案・サポート力 (P31~34)

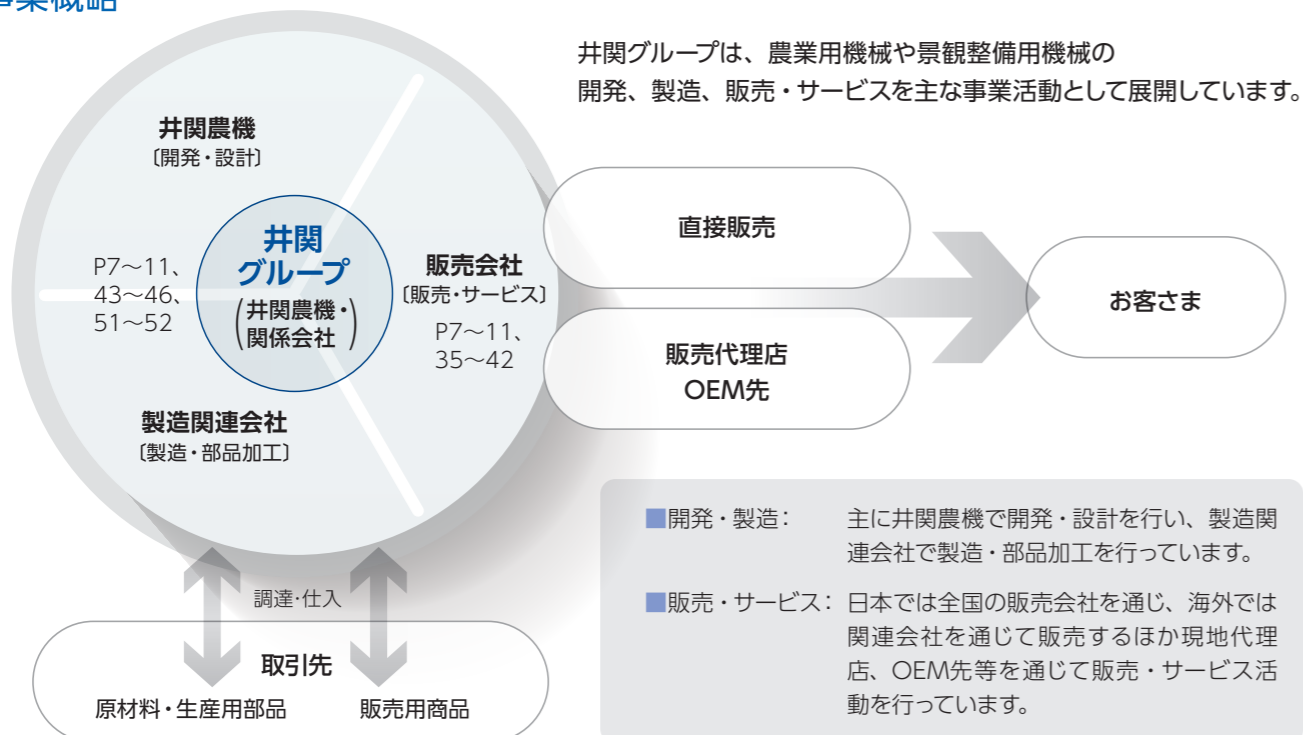
井関グループが事業を通じて実現するSDGs

持続可能な社会の実現に向けて

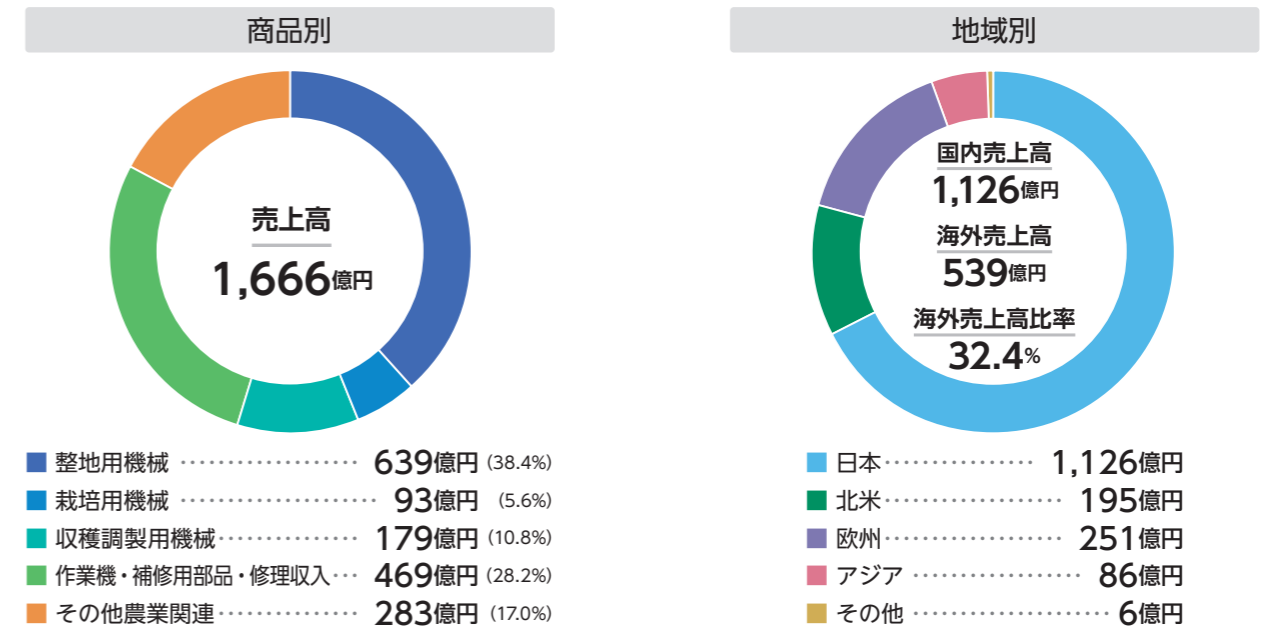
- 農業の強靱化を応援
- 住みよい村や街の景観整備
- 循環型社会を目指す環境保全



事業概略



売上高構成比



商品・サービスの概要

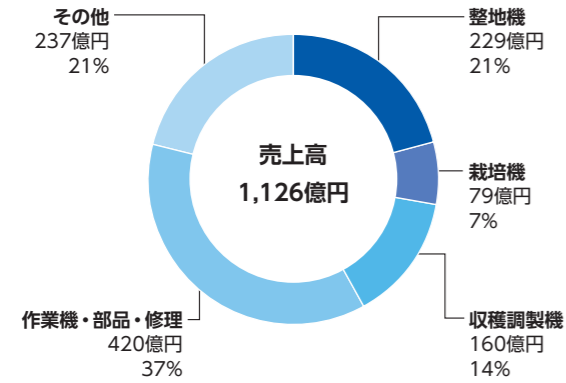
日本やアジアでは、農業生産者やホビー農家など農業用を中心に、欧州や北米では、景観整備業者・ホビー農家・一般消費者などを対象に、トラクタ・乗用芝刈機などの整地用機械、田植機・野菜移植機などの栽培用機械、コンバインなどの収穫調製用機械の開発・生産・販売・アフターサービスを行っているほか、作業機・部品等の販売、OEMによる商品の販売など多岐にわたっています。

	主な商品	主な販売地域
整地用機械	トラクタ、乗用芝刈機、耕うん機・管理機、乗用管理機など	日本、アジア（農業用） 欧州、北米（景観整備用）
栽培用機械	田植機、野菜移植機など	日本、アジア（農業用）
収穫調製用機械	コンバイン、バインダ、籾すり機、計量選別機など	日本、アジア（農業用）
作業機・補修用部品・修理収入	国内外作業機メーカー等の商品、補修用部品、修理・メンテナンスなど	日本、アジア、欧州、北米
その他農業関連	施設工事、農業用資材、コイン精米事業、炊飯事業など	日本

井関グループについて

「日本」「アジア」「欧州」「北米」を重点地域として展開しています。

日本



さらなる省力化が期待される有人監視型ロボット田植機

販売会社を通じて、お客さまに農機の販売・サービスを行うとともに、お客さまの声やニーズを把握し、製品開発等にも活かしています。

販売ルート

- 販売会社11社

農機製品 (農業用)

農業機械の総合専門メーカーとして稲作・畑作・野菜作等において機械化一貫体系を確立しているほか、ホビー農家向けなど幅広くラインナップしています。

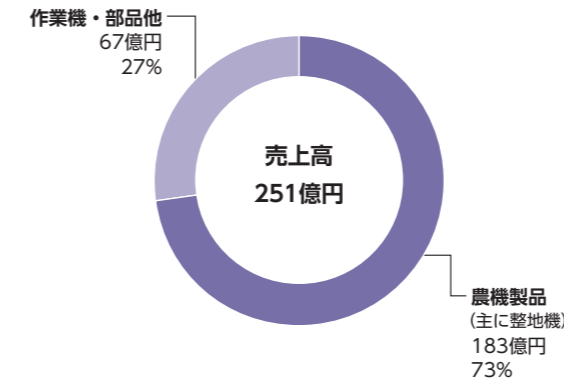
作業機・部品・修理収入

大規模化に伴い計画的に作業が行えるよう、メンテナンス体制(部品、修理)が重視されています。また、市場動向に左右されにくく安定した収益基盤としても、作業機・部品・修理収入など付帯サービスにも注力しています。

その他

農業用施設や太陽光利用型植物工場などの施設工事、肥料など農業用資材、食品・厨房関連商品などを取り扱っています。

欧州



公園や緑地の整備等に利用される乗用芝刈機

1960年代にビジネスをスタート。以降ヨーロッパ全域に販売エリアを拡大しています。

主に景観整備用の市場ニーズに即した小型・高性能なISEKIブランドの商品を提供しています。

販売ルート (主要代理店)

- フランス: ISEKIフランス (連結子会社)
- ドイツ: ISEKIドイツ (連結子会社)
- イギリス: ISEKI UK & IRELAND

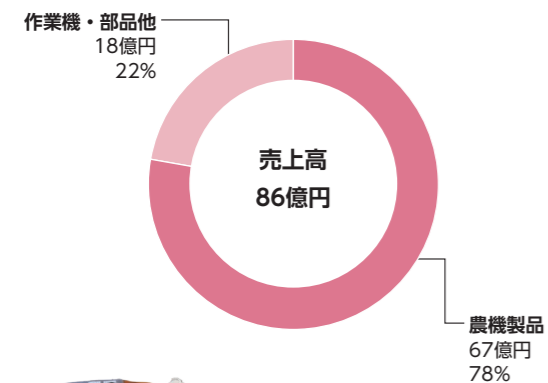
農機製品 (景観整備用)

緑地の芝刈りや道路清掃などの景観整備で利用されるコンパクトトラクタや乗用芝刈機と農業用のトラクタを中心にISEKIブランド商品を提供しています。

その他商品

当社商品とシナジー効果の高い、電動・ガソリンタイプの芝刈商品を仕入・販売しています。

アジア



韓国向けコンバイン

中国現地生産トラクタ

アセアン、東アジア (韓国・台湾)、中国の各市場において、日本で培った稲作関連機械を中心に展開しています。

アセアン市場

今後の成長が期待できるアセアン市場では、連結子会社のIST社を核として、周辺国への販売・サービス展開をしています。

販売ルート

- IST社 (連結子会社)

東アジア (韓国・台湾)

先端技術や大型農機のニーズが高まっており、日本で活躍する大型高性能稲作農機等を現地販売代理店を通じて提供しています。

販売ルート

- 韓国: 現地販売代理店
- 台湾: 現地販売代理店

中国市場

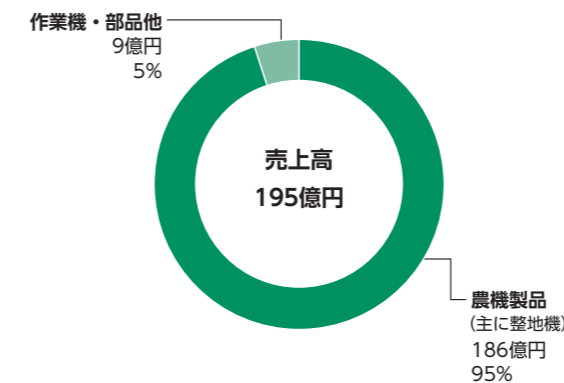
水田作業に適応したトラクタ・田植機・コンバイン等を現地で生産・販売しています。また、先端技術を搭載した日本製農業機械の販売も行っています。

販売ルート

- 東風井関 (持分法適用会社)

※東風井関の現地売上高は連結決算に含まれておりません。

北米



フロントローダーを装着し、運搬に使用



モアを装着し、草刈りに使用

農業機械のグローバルメジャーメーカーであるAGCO社をビジネスパートナーに、同社のMassey Fergusonブランドの商品をOEM供給しています。

販売ルート

- アメリカ・カナダ: AGCO社 (OEM供給)

農機製品: コンパクトトラクタ

プライベートユーザー向けのサブコンパクトトラクタを中心にカナダを含む北米全土に展開しています。

フロントローダーやバックホー、モア等を装着し、庭園管理や整地作業、また、馬の飼料などの運搬に使用され、大地を通じたプライベートな生活の質の向上に貢献しています。

井関グループについて

従業員数（連結）

5,454名

開発、製造部門 …… 1,660名
 販売部門 …………… 3,445名
 その他部門 …………… 349名

(2022年12月末現在)

日本：主な関係会社・販売会社

● 関係会社

(株)井関松山製造所 ◆
 (株)井関熊本製造所 ◆
 (株)井関新潟製造所 ◆
 (株)井関重信製作所 ◆
 (株)井関南吉田製作所^(※1) ◆
 (株)ISEKIアグリ
 (株)井関物流
 (株)ISEKIトータルライフサービス
 北日本床土(株)

● 販売会社

(株)中セキ北海道 ■
 (株)中セキ東北 ■
 (株)中セキ関東甲信越 ■
 群馬中セキ販売(株)
 (株)石川商会^(※1)
 (株)中セキ関西中部 ■
 三重中セキ販売(株)
 奈良中セキ販売(株)^(※1)
 (株)西岡商会^(※1)
 (株)中セキ中四国 ■
 (株)中セキ九州 ■

国内外のグループ力を発揮した事業活動を展開しています。
 また、井関の商品は、世界100以上の国や地域で愛用されています。

海外：主な関係会社・戦略パートナー

【 関係会社 】

ベルギー N.V. Iseki Europe S.A. (ISEKIヨーロッパ)^(※1)
 フランス ISEKI France S.A.S. (ISEKIフランス)
 ドイツ Iseki-Maschinen GmbH (ISEKIドイツ)
 イギリス PREMIUM TURF-CARE LTD. (ISEKI UK & IRELAND)^(※1)
 タイ IST Farm machinery CO.,Ltd. (IST社)
 インドネシア PT. ISEKI INDONESIA (ISEKIインドネシア) ◆
 中国 東風井関農業機械有限公司 (東風井関) ◆^(※1, 2)

【 戦略パートナー 】

アメリカ AGCOグループ^(※3) AGCO Corporation (AGCO社)
 インド Tractors and Farm Equipment Ltd. (TAFE社：業務提携)

◆生産拠点 ■広域販売会社(当社出資比率100%)
 ※1：非連結 ※2：持分法適用 ※3：OEM供給先

生産拠点・主な生産機種

関係会社名 (所在地)	井関松山製造所 (日本)	井関熊本製造所 (日本)	井関新潟製造所 (日本)	井関重信製作所 (日本)	PT.ISEKI INDONESIA (インドネシア)	東風井関農業機械 襄陽工場、常州工場 (中国)
主な 生産機種	トラクタ、乗用芝刈機、 乗用管理機、ディーゼル エンジン	コンバイン、ニンジン 収穫機	田植機、野菜移植機、 籾すり機、バインダ	耕うん機・管理機、 作業機（ロータリー、 モア等）	トラクタ、乗用芝刈機	トラクタ、田植機、コ ンバイン、乗用管理 機、野菜移植機
主な出荷先	日本、アジア、欧州、 北米	日本、アジア	日本、アジア	日本、アジア、欧州、 北米	北米、アジア、欧州	アジア